

**不正の早期発見と予防にむけた着眼点を整理！**  
**不正リスクを考慮した内部監査の実践**

企業における粉飾や横領といった事件は、絶えることなく世間をにぎわしています。内部監査部門が、通常の内部監査を実施する過程で、被監査部門に潜む不正（不正の芽）があればそれを早期に発見し、予防のための監査提言を行うにはどうしたらよいか。本セミナーでは、不正に関する基礎知識や代表的な手口と事例を理解した上で、監査のフェーズごとに（監査計画段階、監査実施段階、監査報告段階）、不正リスクを意識した監査上のポイントを解説します。

解説にあたっては、販売、購買といった具体的な業務プロセスや建設業や小売業など業界特有のポイントを確認するとともに、一部ケーススタディを通じて実際に検討していただくことで、理論から実践へ監査実務を習得していただくことを目指します。  
※研修内容の詳細は裏面をご参照ください。

第 166 回 (東京開催)	日時：2018年	キャンセル待ち	(開場 9:00)
	会場：日本内部監査協会		5-5-2 CN-1 ビル 9階

※ 2018年1月26日(東京)に開催の「第149回スキルアップ研修会」と同内容になります。

研修費：正会員 1名 ￥24,840(税込) 個人会員 1名 ￥24,840(税込) 非会員 1名 ￥30,780(税込)	申込方法： ① 参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX もしくはメール( <a href="mailto:moushikomi@iiajapan.com">moushikomi@iiajapan.com</a> )にてお送りください。 ② 申込書の到着次第、参加証・請求書・会場案内図をお送りいたします。 ③ 請求書をご確認のうえ、研修日の前日までに指定口座にお振込みください。
定 員：200名(申込先着順締切)	

- ※ テキストは参加証と引き換えにお渡しいたしますので、当日は必ず参加証をご持参ください。
- ※ 研修費の払戻しはいたしかねます。ご都合が悪くなられた場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。  
 なお、個人会員の代理出席については、代理の方ご本人が個人会員でなく、かつ所属企業（組織）が正会員でない場合、研修費の差額を申し受けますので、ご了承願います。
- ※ 申込書の送付後、10日を過ぎても当協会より参加証が届かない、もしくはキャンセル待ちの連絡もない場合は、お手数ですがご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- ※ 会場内での録画・録音はご遠慮ください。

【参加申込書送付・お問合せ先】 一般社団法人日本内部監査協会 事務局  
 〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-11 VORT京橋 TEL:03-6214-2231 FAX:03-6214-2234  
 送付先メールアドレス：[moushikomi@iiajapan.com](mailto:moushikomi@iiajapan.com)  
 \*FAX 送信の際は、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

【※】 災害等の影響により、研修会の開催が中止あるいは日時・会場が変更になる場合は、ホームページ等でお知らせいたします。<ホームページ><http://www.iiajapan.com/>

第 166 回スキルアップ研修会(東京開催)

年 月 日

参加申込書

キャンセル待ち

会社名： \_\_\_\_\_ 電 話： \_\_\_\_\_

所在地： 〒 \_\_\_\_\_

部 課 室・役 職 名	フリガナ 氏 名	E - m a i l
		@
		@
研修費(該当 <input checked="" type="checkbox"/> 印)	<input type="checkbox"/> 正 会 員 ￥24,840(税込) <input type="checkbox"/> 非会員 ￥30,780(税込)	
	<input type="checkbox"/> 個人会員 ￥24,840(税込)    →    請求書宛名 <input type="checkbox"/> 会社名 <input type="checkbox"/> 個人名	

参加証・請求書・会場地図の送付先： \_\_\_\_\_部・室 \_\_\_\_\_様宛

※ 部課室・役職名等に変更があった場合はお手数ながら当協会ホームページ「登録情報の変更」からお手続をお願いいたします。

## 【第166回スキルアップ研修会（東京開催）】

時間	主 な 研 修 内 容 ・ 講 師
9:30 ↓ 16:30	<p><b>1. 不正の種類と手口、基本的知識の確認</b></p> <p>(1) 不正の分類と類型、特徴</p> <p>(2) 購買・在庫管理業務に関わる不正の手口 ～架空発注、在庫の水増し計上・横領など</p> <p>(3) 営業・販売業務に関わる不正の手口 ～架空計上、入金着服、滞留売掛金の隠蔽など</p> <p>(4) 昨今の不正事例と傾向</p> <p><b>2. 監査計画段階：不正リスクを分析し、監査要点や手続きの策定に役立てる</b></p> <p>(1) 不正リスク要因の分析 ～トライアングル理論</p> <p>(2) 不正の具体的な兆候 ～内外の経営環境、業務や取引、従業員等の個人的な状況など</p> <p>(3) 財務分析/財務数値を用いた不正リスクの把握 ～ケーススタディを用いて実施</p> <p>(4) 業種別の不正が起きやすいポイントの理解 ～不動産業、建設業、小売業、ソフトウェア開発等</p> <p><b>3. 監査実施段階：不正を意識した監査手続きの策定と実施</b></p> <p>(1) 購買・在庫管理業務に関わる監査手続き</p> <p>(2) 営業・販売業務に関わる監査手続き</p> <p>(3) CAATを活用した監査手続き</p> <p>(4) 監査実施途中で見つかった不正の疑義がある事象に対する対応</p> <p><b>4. 監査報告段階：不正の予防・発見のために必要な内部統制の提言</b></p> <p>(1) 不正を防止するための内部統制の特有のポイント ～通常の内統制との相違点</p> <p>(2) 購買・在庫管理業務で求められる内部統制</p> <p>(3) 営業・販売業務で求められる内部統制</p> <p>(4) 子会社の管理における注意点 ～月次報告書分析、現物調査、定期的な監査等</p> <p><b>5. 不正調査の進め方と留意点</b></p> <p>(1) 不正調査の進め方とフェーズ</p> <p>(2) 不正調査を実施する上での留意点 ～段階別調査上の注意点、インタビュー方法など</p> <p>(3) 是正措置を検討する際の視点と留意事項</p>
<p>◆ 講師: コントロールソリューションズ株式会社</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">代表取締役社長 <b>佐々野 未知</b> 講師</p> <p style="text-align: right;">公認会計士</p>	

※ 研修内容・講師が、やむを得ず変更になる場合は、あしからずご容赦ください。

※ 途中、1時間の昼食時間を含め、適宜休憩をはさみながら講義を行います。

※ 研修費に昼食代は含まれておりませんので、各自でおとりください。

※ CPE 単位／8 CPE 単位が付与されます。

“CPE 単位”とは、CIA・CCSA・CFSA 及び CRMA 資格等の継続的専門能力開発制度における認定単位です。CPE を報告される方は、受講証明の代わりとして参加証のコピーを取り、最低3年間、保管をお願いいたします。

### 【 個人情報の取扱について 】

本申込書にご記入いただいた個人情報は、当研修会の運営を推進するために使用することを目的とします。また、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。